

クラス番号	609	担当教員名	堀場 純矢
テーマ	子どもの社会的養護について考える ～ 児童養護施設を中心に ～		
著書・論文 研究課題等	<p>研究課題：児童養護施設でくらす子どもと親の生活問題，児童養護施設職員の労働問題。</p> <p>主著：『児童養護施設でくらす発達障害の子どもたち』（福村出版），『改訂 子どもの社会的養護』（建帛社），『児童養護と青年期の自立支援』（ミネルヴァ書房），『子どもと福祉』vol.1-4（明石書店），『子どもの貧困白書』（明石書店），『児童養護施設の援助実践』（三学出版）。他</p> <p>主論文：「児童養護施設職員の労働環境の改善に向けて」『月刊 福祉』2011年10月号，「児童養護施設における大学進学問題」『日本の科学者』2011年9月号，「児童養護経験者の生活と意識」『日本福祉大学社会福祉論集』124号，「子どもの貧困と児童養護施設」『家族関係学』29号，「児童養護問題の階層性」『厚生指標』56巻10号。他</p>		

ゼミナール概要

キーワード： 子どもの社会的養護，児童養護施設，子どもの貧困，子ども虐待，階層性，労働問題，生活問題

1. 目的：このゼミは、以下の目的で取り組みます。

- ①子どもの社会的養護に関する諸問題について，社会のしくみと関連づけて，構造的に捉える力を身につける。
- ②ケアの受け手（子ども，家族）と担い手（職員），双方の人権を保障することの重要性について学ぶ。
- ③文献研究，レジュメ作成，司会・討論・プレゼンテーション，調査，論文作成の方法などの演習をとおして，卒業論文の作成に向けて必要な力を身につける。
- ④施設職員，施設生活経験者との学習・交流，施設見学などのフィールドワークをとおして，子どもの社会的養護について，体験的に理解を深める。

2. 内容

学内でのゼミ以外に，児童養護施設生活経験者の当事者団体「なごやかサポートみらい」，全国児童養護問題研究会全国大会・支部学習会，日本福祉大学社会福祉学会などに参加し，施設職員・施設生活経験者・他大学の学生との交流・学習活動を行います。その他，ゼミ合宿・バーベキュー（今年は郡上ひるがの高原），スノーボード・スキー（希望者のみ），ゼミのコンパなども，学生主体で企画・実施しています。

このゼミを希望する学生は，エントリーシートに，①社会的養護について関心を持っているテーマと概要，②卒業後に考えている職業（現段階で）についても記載して下さい。なお，面談の前までに，前述した教員の著書のうち，『子どもと福祉』のバックナンバーを，1～2冊は読んでおいて下さい（テキストで最新号を使うため）。

3. 授業計画

- ・3年：①関心のあるテーマごとにグループ作業・報告・討議，施設見学，②全国児童養護問題研究会全国大会（東京・6月末）への参加，③夏休みの課題の報告，④子どもの社会的養護に関する専門書をもとにレジュメ作成・報告・討議，⑥卒論に向けての個別発表と討議，卒論の体裁・書き方について。
- ・4年：①卒論のテーマと概要に関する個別発表と討議，②卒論の執筆，中間発表，③卒論完成・提出、報告会

担当教員からのメッセージ



このゼミは、①積極的に仲間と議論し，学び，高めあう姿勢のある学生，②将来，児童養護施設・乳児院・母子生活支援施設などの児童福祉施設，児童相談所などの現場で働きたいと考えている学生を歓迎します。メリハリのある，楽しいゼミにしましょう。